

# 会 告

会誌には一部の記事を掲載しております。詳細は本会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>

(本会ホームページ→各種お知らせ→会告)

## 電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成 27 年 10 月 1 日～11 月 1 日

開催プログラムは変更になることがあります。

最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。

<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

### ◎基礎・境界ソサイエティ/NOLTA ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
回路とシステム (CAS) 非線形問題 (NLP)	5日(月) 6日(火)	9:40~17:20 9:30~16:05	アステールプラザ
信頼性 (R)	16日(金)	10:20~12:25	九州工業大学・サテライトキャンパス
超音波 (US)	9日(金)	13:00~16:50	金沢工業大学・扇が丘キャンパス
非線形問題 (NLP)	31日(土) 11月1日(日)	13:00~17:20 9:20~15:20	大濱信泉記念館
VLSI設計技術 (VLD) 集積回路 (ICD) 画像工学 (IE)	26日(月) 27日(火)	13:00~16:40 9:00~14:40	一の坊 (作並温泉)
ワイドバンドシステム (WBS)	9日(金)	10:20~17:00	早稲田大学・西早稲田キャンパス
思考と言語 (TL)	4日(日)	13:15~16:50	早稲田大学
安全性 (SSS)	20日(火)	13:00~17:40	日本大学・理工学部・駿河台キャンパス
バイオメトリクス (BioX) MEとバイオサイバネティクス (MBE) ニューロコンピューティング (NC)	25日(日)	9:00~17:50	大阪電気通信大学・駅前キャンパス
10月休会の研究会;情報理論 (IT), 応用音響 (EA), 情報セキュリティ (ISEC), 信号処理 (SIP), システム数理と応用 (MSS), 技術と社会・倫理 (SITE), ITS (ITS), スマートインフォメディアシステム (SIS), イメージ・メディア・クオリティ (IMQ), 高信頼制御通信 (RCC), 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS)			

### ◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
アンテナ・伝播 (A・P)	22日(木) 23日(金)	9:30~18:00 9:00~12:15	山口県労協会館
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	30日(金)	11:00~16:50	大阪工業大学・うめきたナレッジセンター
衛星通信 (SAT)	7日(水) 8日(木)	9:00~18:20 9:00~18:10	大阪大学・中之島センター
環境電磁工学 (EMCJ) マイクロ波 (MW) エレクトロニクスシミュレーション (EST)	22日(木) 23日(金)	9:00~16:20 9:00~15:50	東北大学・片平キャンパス・さくらホール
ネットワークシステム (NS)	15日(木) 16日(金)	10:00~17:20 9:00~12:00	秋田大学・手形キャンパス・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
情報ネットワーク (IN)	15日(木) 16日(金)	14:30~16:40 12:40~14:20	大阪大学・中之島センター
光通信システム (OCS) 光エレクトロニクス (OPE) レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)	29日(木) 30日(金)	9:00~17:20 9:00~17:05	別府国際コンベンションセンター

無線通信システム (RCS)	1日(木) 2日(金)	9:00~18:25 9:00~17:00	横須賀テレコムリサーチパーク・YRPセンター1番館
光ファイバ応用技術 (OFT)	22日(木) 23日(金)	14:00~17:05 9:10~11:50	三重大学・工学部
インターネットアーキテクチャ (IA)	19日(月)	10:00~18:05	東京大学・先端知ビル・武田ホール
スマート無線 (SR)	26日(月)	9:20~17:00	構造計画研究所・本所新館
短距離無線通信 (SRW)	27日(火)	9:30~14:15	
短距離無線通信 (SRW)	28日(水)	13:25~17:00	機械振興会館
10月休会の研究会；通信方式 (CS)，電子通信エネルギー技術 (EE)，コミュニケーションクオリティ (CQ)，フォトリックネットワーク (PN)，情報通信マネジメント (ICM)，モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA)，知的環境とセンサネットワーク (ASN)，ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT)，無線電力伝送 (WPT)			

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場
機構デバイス (EMD)	2日(金)	13:35~17:15	富士電機機器制御
磁気記録・情報ストレージ (MR)	22日(木)	13:30~16:40	大阪大学・吹田キャンパス
	23日(金)	9:15~12:00	
超伝導エレクトロニクス (SCE)	8日(木)	13:00~17:45	東北大学・電気通信研究所
	9日(金)	9:00~14:50	
電子デバイス (ED)	22日(木)	13:30~16:45	名城大学・名駅サテライト (MSAT)
	23日(金)	9:00~12:15	
電子部品・材料 (CPM)	14日(水)	13:00~16:45	機械振興会館
電磁界理論 (EMT)	29日(木)	10:00~16:40	ANA ホリデイ・イン リゾート宮崎
	30日(金)	10:00~17:00	
	31日(土)	9:30~11:10	
シリコン材料・デバイス (SDM)	29日(木)	14:00~17:20	東北大学・未来科学技術共同センター
	30日(金)	9:30~16:00	
マイクロ波 (MW) エレクトロニクスシミュレーション (EST) 環境電磁工学 (EMCJ)	22日(木)	9:00~16:20	東北大学・片平キャンパス・さくらホール
	23日(金)	9:00~15:50	
集積回路 (ICD) VLSI設計技術 (VLD) 画像工学 (IE)	26日(月)	13:00~16:40	一の坊 (作並温泉)
	27日(火)	9:00~14:40	
有機エレクトロニクス (OME)	16日(金)	13:00~16:40	機械振興会館
有機エレクトロニクス (OME)	23日(金)	10:30~16:40	大阪大学・中之島センター
光エレクトロニクス (OPE) レーザー・量子エレクトロニクス (LQE) 光通信システム (OCS)	29日(木)	9:00~17:20	別府国際コンベンションセンター
	30日(金)	9:00~17:05	
今後の予定；電子ディスプレイ (EID)			
10月休会の研究会；電子ディスプレイ (EID)，マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)			

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場
MEとバイオサイバネティクス (MBE) ニューロコンピューティング (NC) バイオメトリクス (BioX)	25日(日)	9:00~17:50	大阪電気通信大学・駅前キャンパス
画像工学 (IE) VLSI設計技術 (VLD) 集積回路 (ICD)	26日(月)	13:00~16:40	一の坊 (作並温泉)
	27日(火)	9:00~14:40	
コンピュータシステム (CPSY)	8日(木)	10:00~17:00	幕張メッセ・国際会議場
コンピューション (COMP)	2日(金)	10:00~16:20	法政大学・市ヶ谷キャンパス
ソフトウェアサイエンス (SS) ディペンダブルコンピューティング (DC)	13日(火)	13:20~17:10	華厳宗大本山 東大寺
	14日(水)	9:30~11:40	

パターン認識・メディア理解 (PRMU)	8日(木) 9日(金)	13:00~17:00 14:00~17:00	幕張メッセ・国際会議場
知能ソフトウェア工学 (KBSE)	29日(木) 30日(金)	未定	日本大学・理工学部・駿河台校舎
音 声 (SP)	15日(木) 16日(金)	13:00~17:45 10:00~11:50	神戸大学・瀧川記念学術交流会館
教 育 工 学 (ET)	31日(土)	10:25~19:05	日本文理大学・湯布院研修所
クラウドネットワークロボット (CNR)	30日(金)	10:15~17:00	やまと会議室 (奈良市)
サービスコンピューティング (SC)	2日(金)	13:00~16:20	国立情報学研究所
今後の予定；パターン認識・メディア理解 (PRMU)			
10月休会の研究会；ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS), 言語理解とコミュニケーション (NLC), 人工知能と知識処理 (AI), データ工学 (DE), 医用画像 (MI), ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM), リンコンフィギャラブルシステム (RECONF), 情報通信システムセキュリティ (ICSS), 情報論的学習理論と機械学習 (IBISML), マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)			

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日 時		会 場
ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)	2日(金) 3日(土)	13:30~18:00 9:05~16:30	高山市民文化会館
マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)	8日(木) 9日(金)	9:00~18:30 9:00~15:10	小樽市観光物産プラザ
福祉情報工学 (WIT)	25日(日) 26日(月)	13:00~16:50 9:00~11:35	川棚グランドホテル (下関市)
今後の予定；マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)			
10月休会の研究会；ヒューマン情報処理 (HIP)			

◇第二種研究会開催案内

第2回集積光デバイスと応用技術研究会	10月23日(金)	横浜国立大学・電子情報工学科
第58回機能集積情報システム研究会	10月30日(金)	弘前大学・理工学部
第1回コミュニケーションクオリティ (CQ) 基礎講座ワークショップ	10月30日(金)	大阪市立大学・文化交流センター
アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (第51回)	11月24日(火)	機械振興会館

◇第二種研究会発表募集案内

アシュアランスシステム研究会	12月22日(火)	広島大学・東広島キャンパス
第31回サイバーワールド (CW) 研究会	12月4日(金)	防災科学技術研究所 (つくば市)

●..... 受賞候補者募集等 .....●

——平成 27 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙——

今年度の学術奨励賞は、2015 年総合大会（立命館大学）及び、2015 年ソサイエティ大会（東北大学）の講演者を対象に選定致します。受賞者は、上記 2 大会における各座長、各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します。

つきましては、今回は 2015 年ソサイエティ大会の講演者を対象として募集致しますので、下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方々が御推薦下さるようお願い致します。

- <被推薦者の条件>
1. 本会会員であること
  2. 2015 年ソサイエティ大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演、シンポジウム講演）であること。
  3. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳の誕生日を迎えていない者であること。
  4. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること。

<推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙>  
 本会正員に限る。前記被推薦者の条件 1.～4. 項に該当し、適格と認められる者 1 名を推薦。下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し、電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること。

<締切期日> 平成 27 年 10 月 16 日（金）必着（以後の到着は無効となります）

..... 切 取 線 .....  
 .....

平成 27 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 (条件 2) 所属	会員番号： (条件 1)	年齢： (条件 3)
発表大会名	2015 年ソサイエティ大会(東北大学)	
(講演番号)	( )	
題 名		
推 薦 理 由		
推 薦 者 氏 名	正 員 (会員番号： )	

(注) ・推薦理由は、必ず記入して下さい。  
 ・御推薦の講演者の中には同姓同名の方がいらっしゃいますので、お分かりでしたら会員番号を御記入頂きますようお願い申し上げます。(氏名、会員番号等は個人情報ですでお取扱いには御注意下さい。)

——平成 27 年度論文賞候補論文推薦について（通信ソサイエティ）——

\*\*\*\*\* Nomination guidelines for the 2015 Best Paper Awards of IEICE (Communications Society) \*\*\*\*\*

通信ソサイエティから、ソサイエティ会員（正員）の皆様へ平成 27 年度論文賞候補論文推薦のお願いです。論文賞は、各ソサイエティ論文誌に掲載された論文から、特に優秀なものを毎年各 3 編選出し表彰するものです。通信ソサイエティ会員（正員）の皆様には積極的な御推薦をお願い致します。

なお、論文賞候補に推薦された論文は、通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます。通信ソサイエティ論文賞は、通信ソサイエティが 2006 年度に創設し、カテゴリ別に優れた論文を年間 11 編まで選定し表彰するものです。

論文賞候補の推薦にあたっては、下記の事項に御注意下さい。

◎ 論文賞推薦条件及び規程

1. 推薦対象

論文賞候補となる論文は、平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月までの間に通信ソサイエティの論文誌に発表された論文とする。ただし、招待・解説論文、及び、ComEX レターは通信ソサイエティ論文賞の候補にはなるが、論文賞の候補とはならない。

2. 推薦用紙

通信ソサイエティ正員は、推薦用紙若しくは通信ソサイエティ HP 上 (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>) の所定の様式により論文賞候補論文 1 編を推薦する。なお、推薦用紙を用いた場合は、本会総務部宛て郵送のこと。

3. 推薦資格及び推薦件数

通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編

4. 推薦期日

平成 27 年 11 月 1 日（日）（必着）

5. 選奨規程下記参照

1. The candidate papers must be selected from the IEICE Transactions on Communications published between October 2014 and September 2015. Note that Invited Papers and IEICE Communications Express (ComEX) Letters shall be the candidates only for the Best Tutorial Paper Award and the ComEX Best Letter Award, respectively, of the IEICE Communications Society.
2. Any regular member of the IEICE Communications Society can nominate one paper for the award candidates either via the prescribed nomination form or via the Web page of the IEICE Communications Society. (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>)
3. The nomination deadline is November 1, 2015.
4. For detailed provisions of the Best Paper Award of IEICE, see <http://www.ieice.org/eng/awards/provisions.html#03>

◎ 論文賞規程

第 4 章 論文賞

第 11 条 論文賞は、本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に掲載された論文のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

第 12 条 表彰する論文は、各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごとに毎年各 3 編、計 12 編とする。なお、編数は事情により変更することができる。

第 13 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。

第 14 条 表彰する論文が共著の場合は、著者全員を表彰する。

第 15 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。

◎ 各ソサイエティ論文賞候補論文選定方法規程

<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/societysentei.html#B> を参照。

◎ 通信ソサイエティ論文賞規程

<http://www.ieice.org/cs/jpn/cs-edit/files/best-paper.html> を参照。



——情報・システムソサイエティ論文賞 候補論文推薦依頼——

情報・システムソサイエティ論文賞選定委員会  
委員長 山名早人

情報・システムソサイエティでは1999年度より、本部論文賞とは別に、情報・システムソサイエティ論文賞（以下ソサイエティ論文賞と略記）を新設致しております。情報・システムソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。ソサイエティ論文賞は和・英論文誌Dに掲載された論文から、長期的視点に立って特に優秀な論文を原則1件選び、その著者に贈呈します。なお、今年度の選定対象論文は、以下のいずれかの条件に合致する論文となります。

1. [サーベイ論文・解説論文] 2010年10月から2014年9月の4年間に掲載された和・英のサーベイ論文・解説論文のうち、特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。
2. [先見論文] 2010年10月から2014年9月の4年間に掲載された和・英の論文のうち、新たに価値が認識された特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。
3. [連作論文] 2010年10月から2015年9月の5年間に掲載された和・英の論文のうち、同一著者による複数件の論文が連作として優れていると認められるもの。ただし連作の論文の一つが既に本部論文賞あるいはソサイエティ論文賞を受賞している場合は対象としません。
4. [システム開発論文] 2010年10月から2014年9月の4年間に掲載された和・英のシステム開発論文のうち、特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。

正員が推薦できる論文は1編です。ただし、連作論文の場合は複数の論文からなる連作1件です。本ソサイエティHP (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/d2/>)から推薦登録頂くか、下記に記入の上、学会事務局（〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館 電子情報通信学会大会・研究会部ISS担当）宛てに12月1日（火）までに郵送して下さい。

なお、ソサイエティ論文賞の詳細につきましては、電子情報通信学会誌 vol. 82, no. 10, pp. 1072-1073, “情報・システムソサイエティ論文賞の創設” (1999年10月) または、情報・システムソサイエティ誌 第4巻第3号 “ソサイエティ活性化の新しい試み” (1999年10月 <http://www.ieice.org/~iss-mag/pdf/Vol4No3.pdf>) を御覧下さい。

情報・システムソサイエティ論文賞 2015年度候補論文推薦用紙

論文種別（[サーベイ論文・解説論文] [先見論文] [連作論文] [システム開発論文]）いずれか一つに○印をつける	
推薦論文（論文名、著者、掲載年月号、論文誌種別を明記 [連作論文] の場合はすべてを挙げること）	
推薦理由	
推薦者 (情報・システムソサイエティ正員氏名)	勤務先・所属
	勤務先住所・電話・電子メール
会員番号	

(本部論文賞の推薦用紙は会誌11月号会告欄に掲載致します。お間違えのないよう御注意下さい)



## ●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL〔03〕3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

## ——教官・教員募集——

## ●会津大学

公募人員 コンピュータ理工学部 教授, 上級准教授, 准教授等  
若干名(テニユア・トラック)

専門分野 コンピュータ理工学

応募締切 平成27年10月16日(金)必着

問合先 企画運営室 奥平恭子, cse-position@u-aizu.ac.jp

詳細 必ず学会HP並びに大学HPにて確認のこと

## ●会津大学

公募人員 ロボット情報工学教員(任期付き) 上級准教授または  
准教授3名

専門分野 ロボット情報工学

応募締切 平成27年11月27日(金)必着

問合先 〒960-8580 会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90  
会津大学事務局企画連携課 熊田

詳細 [http://www.u-aizu.ac.jp/information/public-class/  
employment-revitalization20150806.html](http://www.u-aizu.ac.jp/information/public-class/employment-revitalization20150806.html)

## ●大阪電気通信大学

公募人員 工学部電気電子工学科 教授, 准教授または講師1名  
専門分野 集積回路, アナログ・デジタル回路, 回路シミュ  
レーション・モデリングに関連する分野

着任時期 平成28年4月1日

応募締切 平成27年10月16日(金)必着

問合先 工学部電気電子工学科主任 渡邊俊彦  
TEL〔072〕824-1131, t-wata@isc.osakac.ac.jp

詳細 <http://www.osakac.ac.jp/etc/recruit/2015/15>

## ●広島工業大学

公募人員 電気システム工学科 教授, 准教授または助教1名

専門分野 通信理論, 通信システム技術に関する分野

応募資格 ①本学の教育方針を理解し, 教育及び研究に熱意のある方, ②博士の学位を有する方, ③上記分野に関する教育・研究または企業で研究開発の経験・実績がある方, ④大学院(博士前期課程)の授業及び研究指導を担当可能な方

応募締切 平成27年10月16日(金)必着

問合先 総務部 中畑佳二, TEL〔082〕921-3123

詳細 本学園HP <http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/>

## ●茨城大学

公募人員 准教授または助教1名

所 属 工学部電気電子工学領域

専門分野 制御工学または信号処理に関係する分野

着任時期 平成28年4月1日

応募締切 平成27年10月30日(金)必着

問合先 工学部電気電子工学領域長 鶴殿治彦  
TEL〔0294〕38-5126, FAX〔0294〕38-5275  
udono@mx.ibaraki.ac.jp

公募情報 茨城大学HP「採用案内」

<http://www.ibaraki.ac.jp/employment/index.html>

## ●茨城大学

公募人員 准教授または助教

専門分野 通信ネットワーク分野, またはソフトウェアとハード  
ウェアを含む通信応用システムに関する分野

応募締切 平成27年10月30日(金)必着

問合先 工学部メディア通信工学領域長, 教授 赤羽秀郎  
TEL & FAX〔0294〕38-5107

akabane@mx.ibaraki.ac.jp

詳細 [http://www.ibaraki.ac.jp/img/employment/saiyou\\_  
kougakubu\\_mediatsushin\\_201508.pdf](http://www.ibaraki.ac.jp/img/employment/saiyou_kougakubu_mediatsushin_201508.pdf)

## ●岡山大学

公募人員 大学院産業創成工学専攻 教授1名

専門分野 セルラシステムやセンサネットワーク等の無線通信シ  
ステムにおける, アクセス制御を含む物理層技術やそ  
れらに関連する分野

応募資格 博士の学位を有し, 教育・研究に意欲的な方

採用時期 平成28年4月1日

公募締切 平成27年10月30日(金)必着

問合先 大学院自然科学研究科 田野 哲

TEL〔086〕251-8126, denno@okayama-u.ac.jp

詳細 <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/society/boshyu-kyoiku.html>

## ●電気通信大学

公募人員 先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター  
(AWCC) 准教授1名

専門分野 無線通信工学分野(無線ハードウェア, 無線信号処理  
及びその関連分野)

応募締切 平成27年10月30日(金)17時必着

問合先 AWCC教授 山尾 泰, yamao@awcc.uec.ac.jp

そ の 他 文部科学省の国立大学改革強化推進補助金「優れた若  
手研究者の採用拡大支援」事業による補助対象予定の  
公募のため年齢制限があります

詳細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

## ●千葉大学

公募人員 大学院融合科学研究科情報科学専攻知能情報コース  
教授1名

専門分野 情報通信工学とその利活用を志向する研究分野

応募資格 博士号取得者。上記分野の教育研究に熱意と十分な能  
力を有し, 国際共同研究の推進ができる方, 日本語と  
英語のどちらでも授業ができること

応募締切 平成27年11月2日(月)必着

問合先 知能情報コース教授 須鎗弘樹

TEL〔043〕290-3509, suyari@faculty.chiba-u.jp

詳細 [http://www.adv.chiba-u.jp/?page\\_id=1761](http://www.adv.chiba-u.jp/?page_id=1761)



◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainbosshu.html>

◎次回締切 12月号掲載分 平成27年10月23日(金)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanbosshu.html>

## ◎…………… お 知 ら せ ……………◎

### ——平成28年シニア会員申請について——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ、本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成28年1月31日まで
- ・推薦基準：本会に関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として累計在籍年数5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。累計在籍年数は、提出期限である1月31日までの在籍月数を積算し、12か月を1年とし、端数月数は切り捨てる。

・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要

・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。

会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧め下さいませようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

### ——平成28年度代議員選挙の

#### 立候補申請について——

「代議員の選出に関する規程」に基づき、平成28年度代議員選挙の立候補を受け付けます。

- ・立候補者：代議員の立候補者は本年9月1日現在、正員として5年以上在籍する会員で、正員等の推薦者5名を付して代議員となることを申し出た者とします。
- ・立候補の締切：平成27年10月31日 学会事務局必着とします。
- ・立候補届：以下の立候補届に所定の内容を記入し、下記まで郵送下さい。

☆立候補届用紙は下記のURLにあります。

<http://www.ieice.org/jpn/28daigiinrikkouho.pdf>

・郵送先：〒105-0011 港区芝公園3-5-8

機械振興会館101号室

電子情報通信学会事務局

### ——電子情報通信学会誌

#### 電子配信トライアル募集——

電子情報通信学会では、将来の技術を見据え、会員への更なるサービスを目指して会誌のプッシュ型配信サービスの500名限定のトライアルを実施致します。会員の方が、iPhone、iPad等をお持ちの場合（アンドロイド端末については、今後対応する予定です）、簡単に毎月1日に電子配信を受けられるとともに、過去のバックナンバーやお気に入り本棚等のサービスを最新のe-pubシステムで受けられます。

電子化技術を利用して、リファレンスやURLへのリンク、更には今後は、動画画像等マルチメディアへの展開も企画していきます。

#### ●インストール方法：

iTunesストアから電子情報通信学会ieice会誌をダウンロードすることから始まります。

下記またはQRコードからインストールできます。

iOS端末のAppStoreから“IEICE”で検索してインストールできます。



<https://itunes.apple.com/jp/app/id957695896>

また、これに伴い、会誌モバイルサイト

<http://app.journal.ieice.org/>

の内容を改訂しました。iOSアプリのサポートページはこちらに用意しました。

<http://app.journal.ieice.org/ios/support.html>

会員の場合は全ての記事を見ることができます。

#### ●ログインするには、アクセスコードを入力してから、会員番号とパスワードを入力します。

※アクセスコードは当面の間、利用者を限定・把握させて頂くために設定しているものです。

下記宛てお問い合わせ下さい。

お問合せ先：会誌出版課 [kaishi\\_trial@ieice.org](mailto:kaishi_trial@ieice.org)

アクセスコードをお知らせ致しますと同時に、セキュリティの管理をさせていただきます。

### ——住所変更届け及び学生員申請、

#### 登録ソサイエティの変更について——

#### 【住所変更】

ホームページ上から、会誌送付先や所属の変更をすることができます。転居等がございましたら、速やかに下記のいずれかの方法にて、事務局に御連絡をお願い致します。毎月15日までに変更申請を事務局で受理したものを、翌月号の発送から変更致します。

①本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/index.html>)

→会員サービス→マイページ

②本会ホームページ→会員サービス→各種届け出→住所変更届け

#### 【学生員申請】

4月以降、大学院等への進学により学生員の継続を希望される方は、「学生員申請」をお願い致します。

①本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/index.html>)

→会員サービス→マイページ

②本会ホームページ→会員サービス→各種届け出→学生員申請

【登録ソサイエティの変更（追加・中止）について（平成 28 年 4 月からの適用）】

本会では、年会費を前納制とさせて頂いておりますので、平成 27 年 11 月下旬に平成 28 年度年会費の請求書及び会員証を送付致します。そのため、登録ソサイエティの追加あるいは中止を御希望される場合には、10 月 29 日（木）までにマイページ及び本会 HP 上から、登録ソサイエティの変更（追加・中止）手続きをお願い致します。

なお、登録ソサイエティの変更につきましては、年度内でも受け付けております。

### ——NOLTA ソサイエティの登録について （平成 28 年 4 月からの適用）——

本会では、年会費を前納制とさせて頂いておりますので、平成 27 年 11 月下旬に平成 28 年度年会費の請求書及び会員証を送付致します。そのため、NOLTA ソサイエティへの登録を希望される場合には、10 月 29 日（木）までにマイページ及び本会 HP 上から、NOLTA ソサイエティの登録の手続きをお願い致します。

NOLTA ソサイエティの発足

<http://www.ieice.org/jpn/whatisnew/inf/20141001.pdf>  
変更・登録方法

- ①本会ホームページ (<https://www.ieice.org/jpn/index.html>)  
→会員サービス→マイページ
- ②本会ホームページ→会員サービス→各種届け出→登録ソサイエティの変更・追加方法について

### ——電子情報通信学会東京支部教育イベントの 公募について——

電子情報通信学会東京支部では、本会定款の「電子工学および情報通信に関する学問、技術の奨励および普及事業」として、我が国の未来を担う子どもたちに自然科学、特に電子情報通信分野

や関連分野の科学技術のおもしろさ、すばらしさを実感、体感してもらえらるイベントを企画することにより、「理工学系離れ」や「科学嫌い」の問題解決に寄与していきたいと考えています。そのため、これまでも東京支部が主催する各種教育イベントを企画、実施してきました。

更にその活動を広げることを目的として、本会東京支部会員から、一般の小、中、高校生を対象とした草の根的な教育イベントの企画提案を募集します。企画・イベントの実施に際しては、東京支部が共同主催し、そのイベントに掛かった実費または実費の一部を分担したいと考えています。

なお、応募要領の詳細につきましては、東京支部ホームページ (<http://www.ieice.org/tokyo/koubokyouikuibento.html>) を御覧下さい。

### ——平成 27 年 10 月号及び 11 月号 和・英論文誌特集・小特集テーマ—— 和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

10 月号 [英文] Recent Developments on Reliability, Maintainability and Dependability

11 月号 [英文] Smart Multimedia & Communication Systems (通信ソサイエティ)

10 月号 [和文] 理論・実践に立脚したインターネットアーキテクチャ

10 月号 [英文] 5G Radio Access Networks-Part II: Multi-RAT Heterogeneous Networks and Smart Radio Technologies

11 月号 [英文] Network Systems for Virtualized Environment (エレクトロニクスソサイエティ)

11 月号 [和文] 先端電子機器を実現する三次元実装技術と牽引する実装材料技術

11 月号 [英文] Electronic Displays

（情報・システムソサイエティ）

11 月号 [和文] ソフトウェア基礎・応用

## 総合版ハンドブック

### 「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後 2 か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



◎…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……◎

◇信越支部

●講演会「進化計算を用いた最適化デザイン」

期 日 平成 27 年 10 月 15 日 (木)  
会 場 新潟工科大学 S2-10 講義室 (柏崎市)  
URL <http://www.ieice.org/shinetsu/>

●講演会「新感覚音声ゲーム kikimimi の開発～共用エンターテインメント機器の実現を目指して」

期 日 平成 27 年 10 月 16 日 (金)  
会 場 新潟大学 103 講義室 (新潟市)  
URL <http://www.ieice.org/shinetsu/>

●講演会「計測器の通信 IF について (仮)」

期 日 平成 27 年 10 月 23 日 (金)  
会 場 信州大学長野 (工学部) キャンパス SASTEC3F 大会議室 (長野市)  
URL <http://www.ieice.org/shinetsu/>

◇関西支部

●准員及び学生員のための講演会 (後半)

期 日 平成 27 年 11 月 10 日 (火), など  
会 場 同志社大学, など  
URL <http://www.ieice.org/kansai/>

●電気三学会関西支部一般見学会「電波で地球を救う!!—マイクロ波利用技術の最前線—」

期 日 平成 27 年 11 月 17 日 (火)  
会 場 信楽 MU レーダー (甲賀市)  
URL <http://www.ieice.org/kansai/>

●電気三学会関西支部専門講習会「保護リレーの方式・運用の現状と海外技術動向」

期 日 平成 27 年 11 月 18 日 (水)  
会 場 中央電気倶楽部 (大阪市)  
URL <http://www.iee.jp/kansai/>

●電気三学会関西支部専門講習会「超電導応用技術」

期 日 平成 27 年 11 月 27 日 (金)  
会 場 中央電気倶楽部 (大阪市)  
URL <http://www.iee.jp/kansai/>

◇四国支部

9 月号会告 851 ページに掲載致しました開催日は, 下記のとおり変更になりました。

●専門講習会「IC 物理設計講習会」

期 日 (旧) 平成 27 年 10 月 24 日 (土), 31 日 (土)  
(新) 平成 27 年 10 月 31 日 (土), 11 月 7 日 (土)  
会 場 高知大学 (朝倉キャンパス)  
URL <http://www.ieice.org/shikoku/>

電子情報通信レクチャーシリーズ 新刊 会員特価販売のご案内

<第33回配本>

**B-5 論 理 回 路**

電子情報通信学会 編/安浦寛人 著 (株)コロナ社 発行  
B5判/140 頁/定価 2,592 円/会員特価 2,400 円 (税・送料込)

デジタルシステムで実現される機能の数学的なモデルである論理関数と有限状態機械を, 論理回路として組合せ論理回路や同期式順序回路の形で CMOS 論理素子を用いて設計する手法を図を多く用いてわかりやすく解説した。

<主要目次>

デジタルシステムの基礎/論理代数と論理関数/論理素子/論理式の最小化/  
組合せ論理回路の設計/フリップフロップと記憶/有限状態機械/  
有限状態機械の状態数の最小化/同期式順序回路の設計/算術演算回路

◆申込方法◆ ご氏名, 送付先の会社名, 学校名, ご住所, 電話番号を明記の上, FAX または e-mail (書式自由, 会員特価販売分と記入) にて, 直接コロナ社にお申込み下さい。

◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石 4-46-10  
(株) コロナ社内「電子情報通信レクチャーシリーズ」係  
TEL 03-3941-3131 (代) FAX 03-3941-3137 e-mail: gyomu@coronasha.co.jp

# 情報ネットワーク科学シリーズ 新刊 会員特価販売のご案内

コロナ社創立 90 周年記念出版 / 電子情報通信学会 監修 / 各巻 A5 判

<第1回配本>

## 1 情報ネットワーク科学入門

村田正幸・成瀬 誠 編著 / 230 頁 / 定価 3,240 円 / 会員特価 3,000 円 (税・送料込)

近年技術革新が目覚ましい情報ネットワーク分野の新しい基礎理論の体系化を目指し、本シリーズを立ち上げた。第一巻である本書では、新しい基礎理論の必要性、体系化に向けた課題、全体像、将来展望などについて解説した。

<主要目次>

第0部 序—情報ネットワーク科学 / 第1部 情報ネットワークのための数理基礎 /  
第2部 ネットワークダイナミクスを扱う情報ネットワーク科学 / 第3部 リアルワールド  
情報ネットワーク科学 / 第4部 人・社会に広がる情報ネットワークの科学

<第2回配本>

## 3 情報ネットワークの分散制御と階層構造

会田雅樹 著 / 230 頁 / 定価 3,240 円 / 会員特価 3,000 円 (税・送料込)

ネットワークの大規模で複雑なシステムを統一的な見方で認識するための枠組みとして、制御動作の時間スケールや制御範囲の空間スケールに基づく階層構造の考え方が有効であり、そのための考え方やモノの見方について解説した。

<主要目次>

1. 自律分散制御と階層構造 / 2. 偏微分方程式に基づく自律分散制御 / 3. 拡散現象に基づく  
自律分散クラスタリング / 4. ホイヘンスの原理に基づく自律分散クラスタリング /  
5. カオスを利用した分散制御 / 6. くりこみ変換と階層構造 / 7. まとめ

<第3回配本>

## 5 生命のしくみに学ぶ 情報ネットワーク設計・制御

若宮直紀・荒川伸一 共著 / 166 頁 / 定価 2,376 円 / 会員特価 2,200 円 (税・送料込)

生物はいい加減である。しかし驚くほどうまくできている。本書では重要な社会基盤の一つとして情報ネットワークが持続発展するため、生命に学ぶ新アプローチを解説。生物の面白さ、生命に学ぶことの意義や可能性を感じてほしい。

<主要目次>

1. 序論 / 2. 生命のしくみに学ぶ / 3. 自己組織化と情報ネットワーク制御 /  
4. 生体ゆらぎと情報ネットワーク制御 / 5. 生体ネットワークと情報ネットワーク / 6. 結論

◆◆◆◆◆ 以下続刊 ◆◆◆◆◆

### 2 情報ネットワークの数理と最適化

—性能や信頼性を高めるためのデータ構造とアルゴリズム—

巳波弘佳・井上 武 共著 / 2015 年 11 月刊

◆申込方法◆ ご氏名、送付先の会社名、学校名、ご住所、電話番号を明記の上、FAX または e-mail (書式自由、会員特価販売分と記入) にて、直接コロナ社にお申込み下さい。

◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石 4-46-10  
(株) コロナ社内「情報ネットワーク科学シリーズ」係

TEL 03-3941-3131 (代) FAX 03-3941-3137 e-mail : gyomu@coronasha.co.jp

### 4 ネットワーク・カオス

—非線形ダイナミクス・複雑系と情報ネットワーク—

長谷川幹雄・中尾裕也・合原一幸 共著 / 近 刊